

「番号」導入による 引越し手続きのリデザイン

平成23年6月7日

東京工業大学・大学院
飯島淳一

1

概要

【目的】

「番号」導入による行政業務のリデザインのポイントを明らかにし、具体的な番号利用イメージを共有すること。

【方法】

対象業務における業務の流れよりも、むしろコミットメントに焦点をあてるため、DEMOと呼ばれる、ビジネスプロセスモデリング(BPM)の方法論を用いる。

【対象業務】

地方自治体をまたがる業務として、平成21年度地域情報プラットフォーム活用推進事業における、業務改革対象の一つである「引越し手続」をとりあげる。

(総務省情報流通行政局地方情報化推進室よりご提供)

【業務改革時の前提】

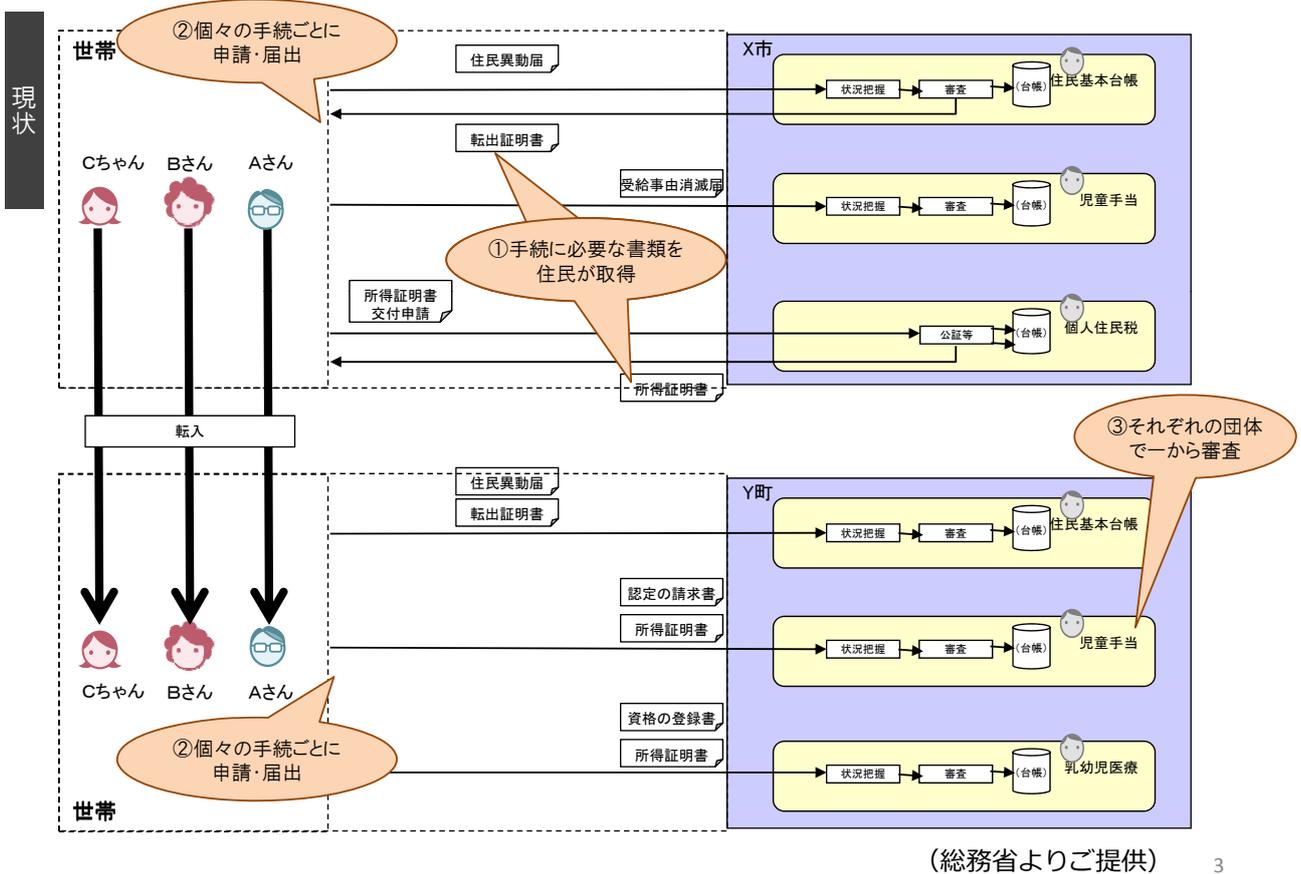
マイポータルの利用および地方自治体と電力会社・ガス会社・水道局などの各組織との間で「番号」の利用が可能

【方針】

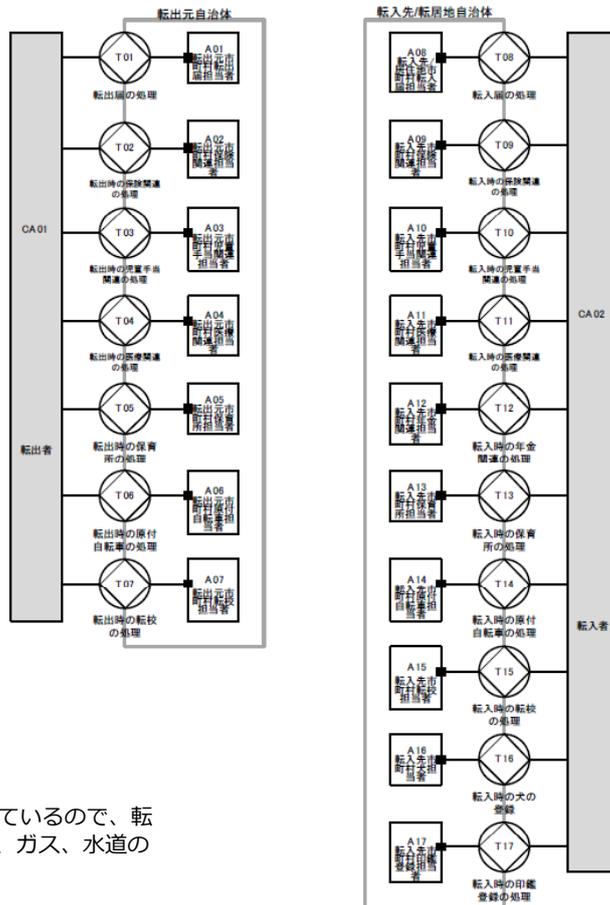
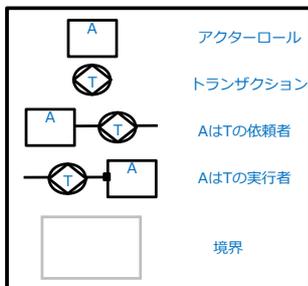
- ・X市からY町への引越しを想定し、さまざまなケースを可能な限り包含するが、単なるデータ転記や書換えなどの活動は省略する。
- ・転出元および転入先自治体の業務に焦点を当てるため、転出者および転入者と他組織との直接のやりとりは表現しない。

2

業務改革対象：No. 3 1. 引越手順の効率化（全部異動、子どもあり）

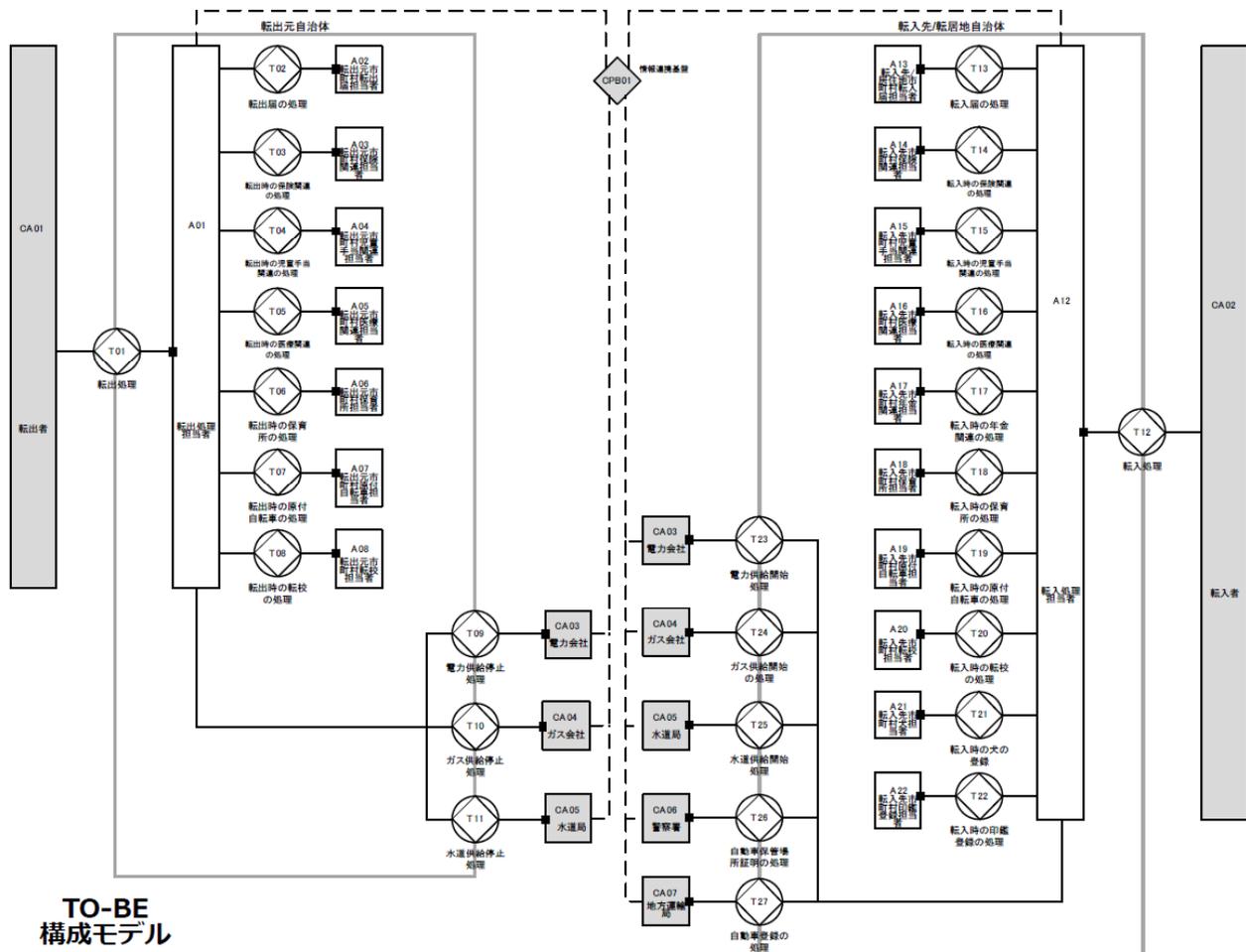
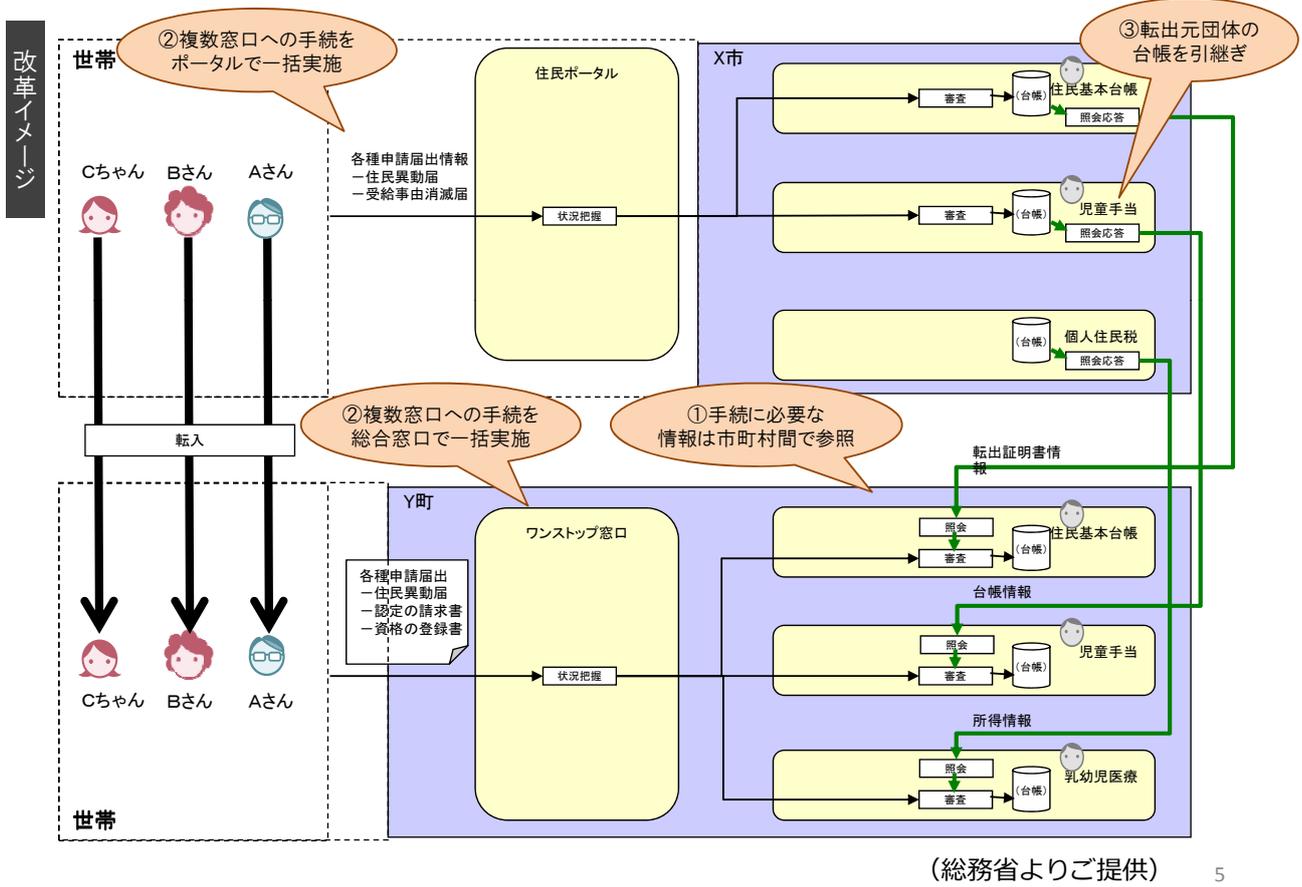


AS-IS 構成モデル



転出元および転入先自治体の業務に焦点を当てているので、転出者および転入者が依頼し、他組織が行う、電気、ガス、水道の供給停止および開始業務は省略している。

業務改革対象：No. 3 1. 引越手続の効率化（全部異動、子どもあり）



情報連携手順（転出時）

【前提】

- ・ Aさん、「番号」(P)のついたICカードを所有
- ・ X市（転出元住所地）のもつPに対応するリンクコード PX
- ・ Y町（転入先住所地）のもつPに対応するリンクコード PY
- ・ 担当組織WのもつPに対応するリンクコード PW
- ・ 自治体間での送受信は、（FROM,TO,WHO,WHAT）の4つ組

1. Aさんは、「番号」(P)と転出届および各種異動届を、住民ポータルから申請する。
2. 住民ポータルは、「番号」とリンクコードの表（X市にある）を用いて、PのリンクコードPXを獲得する。
3. X市で完結する業務について、住民ポータルは、PXをX市における各種異動届担当者へ送信する。
4. 各種異動届担当者は、各々PXを用いて処理する。
5. 電気、ガス、水道の供給停止については、住民ポータルから情報連携基盤へ、（X市、担当組織W、PX、依頼内容）が送信される。たとえば、電気の供給停止であれば、Wは当該電力会社である。
6. 情報連携基盤では、IDコードを介して、リンクコードPWを獲得し、（X市、担当組織W、PW、依頼内容）を担当組織へ送信する。
7. 各担当組織では、PWと依頼内容を用いて対応する処理を行う。
8. 担当組織Wは情報連携基盤へ、（担当組織W、X市、PW、返信内容）を送信する。
9. 情報連携基盤ではIDコードを介して、リンクコードPXを獲得し、（担当組織W、X市、PX、返信内容）をX市の住民ポータルへ送信する。
10. 住民ポータルは、受信した返信内容を用いて、X市での処理を継続する。

7

情報連携手順（転入時）

【前提】

- ・ Aさん、「番号」(P)のついたICカードを所有
- ・ X市（転出元住所地）のもつPに対応するリンクコード PX
- ・ Y町（転入先住所地）のもつPに対応するリンクコード PY
- ・ 担当組織WのもつPに対応するリンクコード PW
- ・ 自治体間での送受信は、（FROM,TO,WHO,WHAT）の4つ組

1. Aさんは、「番号」(P)と転入届および各種異動届・申請書を、Y町のワンストップ窓口申請する。
2. Y町のワンストップ窓口は、「番号」とリンクコードの表（Y町にある）を用いてPYを獲得する。
3. Y町で完結する業務について、窓口担当者は、PYを各種異動届担当者へ送信する。
4. 各種異動届担当者は、各々PYを用いて処理する。
5. 電気、ガス、水道の供給開始および自動車関連については、Y町のワンストップ窓口から、（Y町、担当組織W、PY、依頼内容）を情報連携基盤へ送信する。たとえば、電気の供給開始であれば、Wは当該電力会社である。
6. 情報連携基盤では、IDコードを介して、リンクコードPWを獲得し、（Y町、担当組織W、PW、依頼内容）を担当組織Wへ送信する。
7. 各担当組織では、PWと依頼内容を用いて対応する処理を行う。
8. 担当組織Wは、（担当組織W、Y町、PW、返信内容）を情報連携基盤へ送信する。
9. 情報連携基盤ではIDコードを介して、リンクコードPYを獲得し、（担当組織W、Y町、PY、返信内容）をY町のワンストップ窓口へ送信する。
10. Y町のワンストップ窓口は、受信した返信内容を用いて、Y町での処理を継続する。

8